

事業者向け 児童発達支援自己評価表

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		バリア・フリーにすることで児童の対処能力や問題解決能力へつなげていこうとしています
	2 職員配置数は適切であるか	○		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○	新しい職員への周知がなされていないため、今年度研修を実施予定である
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケートは保護者の意向を把握する機会なので改善につなげたい
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		外部講師を招き、ケースカンファや安全管理講習等を今年度も実施予定
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		2年目さらに研修・ケースカンファを実施。3年目に年間計画で自己理解と他者理解、特性理解など立案している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		今後、当事業所に合ったアセスメントツールを検討し活用したい。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	今年度の課題である！
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○	現在、スタッフに立案提示するが全スタッフに整わず、今後さらにチーム力を高める予定。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		毎日、毎回徹底してミーティング時間をとっています
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		毎日、毎回徹底してミーティングにてPDCAを共有
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>		もう少し細かく見直していきたい
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	<input type="radio"/>		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>		昨年度より、保健師さんとの情報共有・連携を密接に行い、検診時でも相談にのっている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		<input type="radio"/>	現在、対象児がいない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		<input type="radio"/>	現在、対象児がいない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>		児童と共に学校見学等も実施
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>		昨年度、療育センターより研修を受講。今年度も受講予定。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>		法人の他事業と交流して障がいのない子と交流の機会を設けている
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		<input type="radio"/>	当自治体に連携ネットワークなく、昨年より必要性を伝える。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	<input type="radio"/>		去年より当事業主催のペアレントプログラム実施。今後は、自治体と共同主催にて同プログラムを実施予定。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	<input type="radio"/>		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>	2日/月(土)に親子療育の後、保護者交流のため、座談会や勉強会を実施	
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>	現在、苦情はないが、苦情があった時に迅速に対応できるようにしていきたい	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		<input type="radio"/>	長期休み前のみ発行
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			
非常時などの対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		<input type="radio"/>	今年度は新型コロナウイルスの影響で交流できず
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		<input type="radio"/>	保護者にまで周知はしていないので、今後の課題である
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		地震・水害・引き渡し訓練を実施
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>		現在食物アレルギーの子がいないも、今後対応できるように整えたい
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		昨年度より、作成する力、共有力も上がってきているので、今後もヒヤリハット作成を徹底していきたい
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		<input type="radio"/>	参加したスタッフいるも、新しいスタッフへの周知と徹底していきたい
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		<input type="radio"/>	現在、身体拘束がやむを得ず要す児童はいないも、今後考えていきたい	